

2017年5月11日

報道関係各位

中部学院大学
中部学院大学短期大学部

若者目線から「魅力」を再発見！

若手職員と学生の多彩な視点で山県市の魅力アップを考える

中部学院大学ならびに中部学院大学短期大学部では、地元出身の学生を中心に、地域で活躍できる人財を育てる教育を進めてきました。地域と連携して人財育成を行い、大学が持つ知見などの資源を活用し、地域に貢献しています。その一環として、地域連携授業「美濃と飛騨のふくし」で山県市役所の職員と意見交流会を開催します。意見交流会では、本学の学生と山県市の若手職員で構成する「魅力発信プロジェクトチーム」が、既成概念にとらわれない視点で「山県市の魅力」を見出し、率直な意見を交換します。

記

【意見交流会】

- 日 時 2017（平成29）年5月15日（月）午後3時～同4時30分
- 場 所 中部学院大学 関キャンパス 2108教室
（岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 2号館1F）
- 参加者 山県市職員（魅力発信プロジェクトチーム）20名
中部学院大学・同大学短期大学部 学生 43名

【経緯・目的】

2016年10月19日に、山県市と中部学院大学ならびに中部学院大学短期大学部は、地域課題の解決に向けた活動を行うなど地域人財の育成や地域振興を推進していくために、包括連携協定を締結しました。

山県市では、若手職員で構成する「魅力発信プロジェクトチーム」を発足させ「山県市の魅力アップ戦略」を行っており、今回は、学生と意見を交流しながら検討することにより、若い世代の感性を今後のシティプロモートや地域イベントの企画等の参考とします。

学生にとっては、地域課題の解決に関心を持ち、地域課題の解決に向けた活動の第一歩となることを目的とします。

以上

（本件に関するお問い合わせ先）

中部学院大学 教育研究支援部 研究支援課 担当：浅野

TEL:0575-46-7158（関キャンパス）Mail：chiiki@chubu-gu.ac.jp